

外郭団体評価 改善状況報告調書(平成19年度評価分)

団体名	財団法人會津八一記念館	所管課
		文化政策課

1. 評価調書【今後の取り組み】の改善状況

【今後の取り組み】										
施設の老朽化も進んできていることから、適切な維持補修を行っていく。										
改善・対応区分		既に改善・対応済み				✓	今後(引き続き)改善・対応予定			
これまでの改善・対応内容		駐車場フェンスは入館者の運転でしばしば破損し、その都度、修理している。この経費は軽視できない。								
① 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		フェンスを新方式にするか、抜本的な駐車場整備が望ましい。エレベーター棟が冬期結露して床に水がたまり、機器に損傷を与える恐れありと、業者から指摘あり。この改善も迫られている。大規模な維持補修については、市側と必要性について検討しながら、適宜進めていく。							
	実施事項		20	年度	21	年度	22	年度	23	年度
	工程	指定管理者による維持補修	○		→		→		→	
		市による維持補修	○		→		→		→	

【今後の取り組み】										
財団の設立目的、経営方針、経営資源に照らし、今後展開する事業の方向性を市と財団が協議して、定めていく。										
改善・対応区分		既に改善・対応済み				✓	今後(引き続き)改善・対応予定			
これまでの改善・対応内容		名誉市民會津八一の作品の収蔵と保管、定期的展示および学芸的普及が目的。没後50年となり、世代交代の中で、知名度も薄れている。18年度から新潟のルネッサンスと位置づけ、学芸的業績の内外へ普及させるため展示をカラフル、立体化、コラボレーションで、多角的チャンネルを駆使し、内外の関心を高める。								
② 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		論文コンテスト、写真コンテストで全国に會津八一館の活動をPR。奈良遷都1300年となる2010年に標準を合わせ、奈良で會津八一展を実施する。この展示で全国に再認識を図る。							
	実施事項		20	年度	21	年度	22	年度	23	年度
	工程	事業の方向性についての協議	○		→		→		→	

【今後の取り組み】										
財政面においては、財団の自発性や創意工夫が発揮できる仕組みについて、市側も含め検討を行う。										
改善・対応区分		既に改善・対応済み				✓	今後(引き続き)改善・対応予定			
これまでの改善・対応内容		18、19年度、會津八一とゆかりの企業が協力企業団として定期会合を発足。記念館が入館者アンケートを実施し、回答者のうち抽選で120人(年4回展示分)に企業は商品と発送経費約42万円分を提供。19年度は写真コンテスト入選者と受賞祝賀用に15万円分を提供。								
③ 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		20年度は特別展図録に広告を掲載開始。80万円を見込む。写真コンテストでは共催5団体から40万円、協賛社を2社増やし15万円を確保する。協力企業の商品提供は20年度も継続。							
	実施事項		20	年度	21	年度	22	年度	23	年度
	工程	特別展図録広告の実施	○		→		→		→	
		写真コンテストの協賛企業の増への働きかけ	○		→		→		→	

【今後の取り組み】										
組織の年齢構成上、事務の継承が課題である。当財団の組織構成については、見直していく必要がある。										
改善・対応区分		既に改善・対応済み			✓	今後(引き続き)改善・対応予定				
これまでの改善・対応内容										
④ 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		財団職員の年齢構成は学芸員(正職員)が20-30代、事務職2人(嘱託)が60代。事務職員が65歳定年後に安定的運営を維持するため、40代の事務職を補充する方向が望ましい。記念館のイベント行事、グッズ開発と販売などが多岐にわたり、そのうえ指定管理、新公益法人制度、自己評価制度など新たな事務も繁雑となり、人員補充が望ましい。							
	実施事項		20	年度	21	年度	22	年度	23	年度
	工程	事務分掌の確認	○		→		→		→	

2. 評価調書【総合評価】における「今後の取り組みに対する評価、改善指示事項」の改善状況

【総合評価】今後の取り組みに対する評価、改善指示事項										
団体として検討している小・中・高等学校を対象とした事業のPRや會津八一の業績の周知などの実施に着手し、また相乗効果を狙って他の歴史・文化関連施設と連携して事業を実施することにより、入館者数を確保して會津八一の業績等の普及啓発に努める必要がある。										
改善・対応区分		既に改善・対応済み			✓	今後(引き続き)改善・対応予定				
これまでの改善・対応内容		出前授業の計画を立てたが、学校関係の反応は芳しくなく、実施できなかった。その分、地域の小さな会合などに出かけ、館長、事務長、学芸員が講演・講座を実施。								
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		20年度は政令市で拡大した新潟市の周辺各公民館に出張講座をすとして、チラシで呼びかけを実施したり、公民館館長会議に働きかけを行う。							
	実施事項		20	年度	21	年度	22	年度	23	年度
	工程	出張講座の実施	○		→		→		→	

【総合評価】今後の取り組みに対する評価、改善指示事項										
新たな自主財源の確保策を打ち出すなどにより、長期的に収入の確保に取り組んでいく必要がある。										
改善・対応区分		既に改善・対応済み			✓	今後(引き続き)改善・対応予定				
これまでの改善・対応内容		【再掲】 18、19年度、會津八一とゆかりの企業が協力企業団として定期会合を発足。記念館が入館者アンケートを実施し、回答者のうち抽選で120人(年4回展示分)に企業は商品と発送経費約42万円分を提供。19年度は写真コンテスト入選者と受賞祝賀用に15万円分を提供。								
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		【再掲】 20年度は特別展図録に広告を掲載開始。80万円を見込む。写真コンテストでは共催5団体から40万円、協賛社を2社増やし15万円を確保する。協力企業の商品提供は20年度も継続。							
	実施事項		20	年度	21	年度	22	年度	23	年度
	工程	【再掲】 特別展図録広告の実施	○		→		→		→	
工程	【再掲】 写真コンテストの協賛企業の増への働きかけ	○		→		→		→		